



「思春期のトリセツ ～上手な自尊感情の育み方～」

思春期の子どもたちの成長と変化に伴う様々な課題に対し、親としてどのように理解し、サポートすればいいのか。子どもたちの自尊感情を育み、親子関係の円滑なコミュニケーションを築くためにはどうすればいいのか。日々のいろいろな悩みを一緒に考えてみませんか。

日時: 令和7年(2025年) 2月10日(月)
15:30~17:30

場所: 伊丹市立総合教育センター 2階 研修室

講師 加島 ゆう子 氏



- ・ 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科修士課程修了
- ・ 養護教諭歴40年（兵庫県立特別支援学校・西宮市立小学校中学校
兵庫県立教育研修所・国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校）
- ・ 学校カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、コーチングインストラクター
自閉スペクトラム支援士
- ・ 「自己肯定感がぐんぐんのびる45のプログラム」（合同出版）

幼少期に虐待を受け、小学生で喫煙、中学生でリストカット、高校生で不登校を経験する。同じく不登校だった友人の自殺をきっかけに再登校を始め、このように自ら命を絶つ子どもを救いたいという一念で教師を目指す。

40年間、養護教諭として勤務する。昨年度末に退職し、現在、精神保健福祉士の資格取得のため、専門学校で学ぶ。

43歳の時、大学院に進み、子どもの自尊感情と親子関係について研究を行い、子どもの問題行動の背景にはそれが大きく関連していることを検証し、西宮ライフスキル研究会にて、子どもの自尊感情を育む45のプログラムを開発する。その後、そのプログラムを教育現場や講演会、ワークショップなどで実践し、勤務校における包括的自殺予防教育の中にも取り入れる。

2012～13年には、兵庫県立教育研修所において不登校対策推進研修員を務め、不登校の予防と対策に関する業務に従事する。

虐待のサバイバーであり、不登校だった自らの体験を生かすべく、虐待防止や子育て支援、ひきこもりや不登校支援をライフワークとし、子どもの人権・不登校・子育てなどをテーマに各方面にて講演を行う。コロナ禍において、教え子を自死で亡くしたのをきっかけに、勤務校にて「包括的自殺予防教育」を実践する。

申込は下のQRを読み取るか、URLからアクセスしてください。

申込×切 2月7日(金)



<https://forms.gle/28Kbh74e42PwRdi56>

問い合わせ 総合教育センター(担当:江尻)
072-780-2480